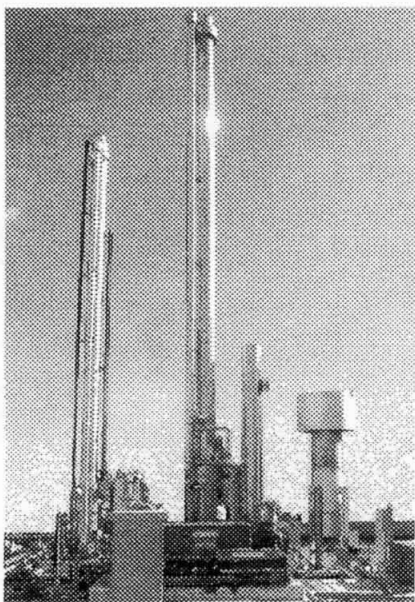


バイオガスから高

実機プラン

神鋼環境ソリューションが受注した設備は、まず下水の処理過程で発生するバイオガスを高圧の塔内で水と接触させ、含まれる二酸化炭素(CO₂)を溶解、除去する。CO₂とメタンの溶解度

の差を利用してメタン濃度を高め、高濃度メタンガスを生成する仕組み。生成するメタンの濃度は98%以上を実現する。実機プラントは、実証実験プラントに比べて約4倍の処理能力を持つ。入



ガスの実
天然の備
天設備の
オ設備の
バイオ化
ガス化プラ
証

り口の消化ガス量
間当たり330立
2系統を計画する。

塩ビエ

シ

【東大阪】シンコーレーション(東大阪市、久間智敬 06・6747・61)は、塩化ビニール(1)のりサイクリウムを構築した。剥がせるフロアマットネラ置き式とした。素材に電を約70%使用した取り換え時には無料で引き取り、エアコン室外機のに再生する。07年上高約5億円を目

再生石こう利用技術普及へ

年度内、長崎に組合

真人

【長崎】真人(長崎県諫早市、山本芳弘社長、0957・48・1022)は06年度中にも、長

崎県で「再生石こう利用組合(仮称)」を設立する。産業廃棄物関連業者が中心になり、大学教員や商社など10者で立ち上げる。会員は使用済みの石こうボードを軟弱地盤用の固化剤などにリサイクルし、土木建築業者らに販売する。会員はさらに募集し、大阪府をはじめ、全国各地に組合を設立して再生石こうの利用技術を普及させる。

・焼成し、環境負荷の低い固化剤などに再資源化する技術を確立している。諫早市内の工場で廃石こうを使った固化剤を生産しており、長崎県内の河川改修工事などで採用された実績がある。

石こうを使った固化剤は六価クロムなどの有害物質を含まず、水素イオン濃度(pH)がほぼ中性のため環境負荷が低い。「固化剤に使われるセメントや石灰はpHが高く、環境負荷が大きい」(真人)という。

真人が再生石こうの利用技術を組合員に供与し、リサイクル製品の全国普及を目指す。

弁当、容器づし

業務用生ゴミ

【厚木】東京衡機製造所は業務用生ゴミ処理装置「生ごみ一番II写真」の販売を4月に始める。06年5月から大手コンビニエンスストアで実用化実験を進めていた。熱による乾燥式で、弁当などをプラスチック容器ごと

ほとんど出ず、白米を多く含んだ食品が容易。処理容量100kgの機り、価格は120万。初年度100万を見込んでいる。販売する装置は室の上下2力かかブル加熱方式を採

真人は廃石こうを粉砕

真人が再生石こうの利

真人が再生石こうの利

真人が再生石こうの利